

目次

口絵	i
発刊のあいさつ	i
凡例	ii
目次	iv
史料細目	vii
総説	1
第一章 村の景観	5
第一節 平場の景観(石上村)	
第二節 山の景観(入山上村)	
第三節 海の景観(原釜村・尾浜村)	
第二章 村と在郷給人・郷士	33
第一節 系図と由緒	
第二節 在郷給人の知行	
第三節 在郷給人の身上がり	
第四節 村の武芸	
第五節 村の役負担	
第三章 村と家の記録	267
第一節 村の日記	
第二節 村の記録(御用留)	
第四章 平場の生業	669
第一節 開発と用排水	
第二節 農耕の実相	

第三節	肥料の調達	
第四節	土地の質入れ・売買と移動	
第五節	藩の勸農	
第六節	酒造業	
第七節	馬産と羅馬	
第五章	山の生業	777
第一節	山論をとおしてみた山の利用と領有	
第二節	御林・街道松・御年貢山と山守	
第三節	植林・伐採と柵納入	
第四節	社木林と屋敷林	
第六章	海・潟・川の生業	805
第一節	藩における塩場と塩釜	
第二節	塩場小作と塩場経営	
第三節	藩の浦・潟・川	
第七章	宿場・街道・港	833
第一節	商業統制と国産政策	
第二節	領内商人の様相	
第三節	領外商人との繋がり	
第四節	港の様相	
第五節	船の世界	
第六節	商品流通と商業情報	
第七節	飢饉と流通	
第八章	飢饉と農村復興・御仕法	909
第一節	天明の飢饉	

第二章	新軒百姓の取り立て	
第三章	天保七年の飢饉と復興	
第四章	天保飢饉からの復興	
第五章	御仕法（報徳仕法）	
第九章	村の暮らし	1073
第一節	懐妊・出産と届け	
第二節	養育料	
第三節	婚姻・養子・相続と諸届け	
第四節	証文にみる人口移動	
第五節	家屋の普請	
第六節	日常のひとこま	
第七節	村の医療	
第八節	殿様・奥方様の通行と村の対応	
第十章	村の寺社と暮らしのなかの祈り	1159
第一節	村の寺院と神社	
第二節	寺院と神社の由緒	
第三節	村の宗教者（修験と村の生活）	
第四節	人々の信仰と村社会	
第十一章	村の幕末と維新	1227
第一節	藩外の幕末混乱状況	
第二節	戊辰戦争と村	
相馬中村藩領	村名一覧	1269
関係者一覧		1271